

# ■第1回検討会議での意見を踏まえた論点の整理について

## 【前回の会議で出た主な意見】

※保存整備計画、公開活用計画案策定に関する意見を抜粋

遺構の目的により遺し方や遺す範囲も変わる。

遺構を遺す目的は、教育が主であり、観光はサブである。

遺構をどういう役割で遺していくかを考える必要がある。

観光対象としての関心は非常に高い施設。

遺構を遺す主目的は、減災としたい。

地元小学校のカリキュラムに取り入れ、学校学習施設としての活用。

階上地区の遺構ではなく、市全体の遺構として検討していく必要がある。

市中心部の施設や隣市の施設と連携した見せ方が大事。

周辺の観光施設との連携を意識した構想にしたい。

防災教育としての資料の展示室も併設することを検討されたい。

校舎等の建物は地元の海産物の提供の場、防災教育の場として活用したい。

いつまでどのように活用するか、維持管理をできるかを含めて検討の必要。

市の震災伝承検討会議の結論をベースに議論を進めてほしい。

階上地区のまちづくりがどうあるべきかは、まちづくり協議会の提言書で提示済である。

## 論点の整理

遺構保存の目的の明確化  
(優先順位づけ)

市全体を俯瞰し、他施設との  
役割・連携等を考慮した遺構  
の位置付けの確認

現地構造調査より、ハード面から  
の保存可能性とその維持コスト  
の提示

震災伝承検討会議報告書、  
階上地区まちづくり計画提言書  
の考慮